

会議要録

会議名	第2回部活動指導業務委託事業候補者選考委員会
開催日時	令和5年1月26日（木曜日）
開催場所	教育センター 研修室3
委員	（出席者）岡出美則委員、高田彬成委員、吉永武史委員 中田和直委員、篠崎玲子委員 （欠席者）無
事務局	澤木俊宏、増岡文也(教育支援係)、野口由博（指導主事）
会議次第	1 開会 2 資料説明 3 審議事項 （1）第一次審査集計の評価及び第一次審査通過者について（書類審査） （2）第二次審査の確認について（プレゼンテーション） 4 その他 5 閉会
配付資料	〔配付〕 次第 資料1 「第1回部活動指導業務委託事業候補者選考委員会会議要録」 資料2 「部活動指導業務委託事業候補者選考第一次審査採点表（集計）」 資料2-2 「事務局採点基準表」 資料3 「部活動指導業務委託事業候補者選考第二次審査採点表」 資料4 「部活動指導業務委託第二次審査 タイムスケジュール（案）」 資料5 「部活動指導業務委託第二次審査実施時の留意事項（案）」

会議の結果及び主要な発言

1 開会

2 資料説明
(事務局説明)

3 審議事項

(1) 第一次審査集計の評価及び第一次審査通過者について(書類審査)
(事務局説明)

A委員 事務局採点の実務実績について、事業者①は4自治体、事業者②は1自治体とあるが、自治体の規模はわかりますか。

事務局 実績のある学校数は把握できますが、自治体の規模については事務局での把握はできません。

B委員 事業者①と事業者②を比べた際に、実績に基づく提案が事業者①の方が優れていると判断し、評価の差をつけました。

C委員 部活動指導員の人材確保について、事業者①の方が安心して業務を任せられると判断し、評価の差をつけました。

D委員 管理体制、実績において、事業者①の方が優れていると判断し、評価の差をつけました。

委員長 先ほどの講評を踏まえて、追加で質問などありますか。

B委員 2事業者が選考に参加していますが、第二次審査への通過者は1者のみとして今後の選考を行うのか、両事業者とも第二次審査へ通過されるのかどちらでしょうか。

事務局 港区におけるプロポーザルガイドラインにおいて、第一次審査通過者は3者程度と定められているため、事務局としては両事業者を第一次審査通過者としていたいと考えています。

B委員 両事業者とも第一次審査通過者にできるのであれば、第二次審査時の質疑応答の際に、疑問点等を問いかけたいと思います。

A委員 第二次審査において、2事業者の順位をつけ、1位となった事業候補者が事故等で業務を請け負うことが出来なくなった場合、もう一方の事業者が次点候補者として業務を請け負うのでしょうか。

事務局 1位の事業者を事業候補者、2位の事業者を次点候補者として、1位の事業候補者が業務を請け負うことが出来なくなった場合には、次点候補者を事業候補者として契約の手続きを進めます。

A委員 次点候補者になった場合、部活動指導員の質の担保が確実に保たれるかが不安になりました。

D委員 第二次審査の質疑応答の際に、区が求める仕様内容を確実に履行できるかを確認してもらえると、質の担保に繋がると考えます。

A委員 第二次審査の質疑応答の際に、人員確保や体制について確認していきます。

E委員 書面だけでは読み取れない研修の内容や、研修終了後のフォローアップの部分等を質疑応答の際に聞くのが良いと思います。

委員長 委員の皆様の意見を踏まえ、第一次審査については、事業者①、事業者②両者を第一次審査通過者としていきたいかがでしょうか。

一同賛成

	<p>協議の結果、第一次審査通過者は事業者①、事業者②とする。</p> <p>(2) 第二次審査の確認について (プレゼンテーション) (事務局説明)</p> <p>C委員 大会引率のみならず、生徒が参加しない顧問会議や、大会運営の会議への出席も可能かどうか書面からでは読み取れなかったのですが、質疑応答の際に確認したほうがよろしいでしょうか。</p> <p>事務局 顧問会議や、大会運営の会議への出席については仕様書に記載しているため、両事業者共に準備はしていると思いますが、事業者への確認を含めて改めて質問をお願いします。</p> <p>B委員 第二次審査の採点表については、事業者に配っていないと思いますが、どのような点から採点をするか事業者はわかっていますか。</p> <p>事務局 第二次審査の採点表は事業者に配っていません。プレゼンテーションする内容は第一次審査で提出した提案書に基づいて行うため、提案書の内容をプレゼンテーションすれば、採点表の項目については評価できると考えています。</p> <p>B委員 事業者が提案書について網羅的にプレゼンテーションできればよいが、一部の説明が抜けていた場合、プレゼンテーションとしての内容としての評価をするか、提案書に記載しているから評価できるとするのか、どちらでしょうか。</p> <p>事務局 基本的にはプレゼンテーションの内容で評価してもらうため、網羅的にプレゼンテーションをするよう、第二次審査実施時の留意事項を事業者へ通知する際に、「プレゼンテーションにおいては、事前に提出した企画提案書に記載した内容について網羅的に説明いただきますようお願いいたします。」と追記します。</p> <p>4 その他 (事務局説明)</p> <p>5 閉会</p>
--	--